

平成 28 年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：医学部・看護学科

事業担当者の職・氏名：教授 成田有吾（基礎看護学）

内線電話番号：6 2 1 7

電子メール：yug-n@nurse.medic.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20 字以内，別に副題を付けても良い）

看護学科における ドイツ および タイ提携校との相互交流促進事業

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要

2016年度の本学医学部看護学科(大学院医学系研究科看護学専攻)のドイツおよびタイの提携校からの受け入れとして、下記の3件に取り組んだ。①4月末～7月末:ドイツ、フライブルク・カトリック大学から4名の学生が派遣元大学で単位認定されるインターンシップとして、3か月間、本学医学部看護学科、医学部附属病院および県内4関連病院で研修した。②7月下旬:タイ、チェンマイ大学からの学生8名と教員1名が、1週間の日程で、本学医学部看護学科、医学部附属病院および公立紀南病院での研修を行った。③12月下旬:フライブルク・カトリック大学から2名の学生と教員2名が1週間の日程で、本学医学部看護学科、医学部附属病院および公立紀南病院を訪問した。最終日の12月23日には、三重大学医学部附属病院 外来棟5階の大ホールにて、2016三重大学地域拠点サテライト企画「地域医療と医療資源のマネジメントー日独に共通する諸問題と解決策に向けて」と題したパネルディスカッションを共同で開催した。

2016年度の本学医学部看護学科から提携校への派遣として、下記の3件を主管した。①5月上旬、ドイツ、フライブルク・カトリック大学での国際週間(International Week)に合わせ学生2名と教職員3名が1週間の日程で、フライブルクにて研修した。②8月下旬、タイ、チェンマイ大学看護学科へ学部学生2名と教職員2名が訪問し、1週間の日程で、タイの文化、保健、医療、看護について研修した。③11月中旬、ドイツ、フライブルク・カトリック大学と関連医療機関へ大学院学生および医学部附属病院教授を含む教職員等、計5名が訪問(1週間)し、現地の救急医療体制ならびに医療提供について見学、意見交換した。

(2) 事業の背景・これまでの実績

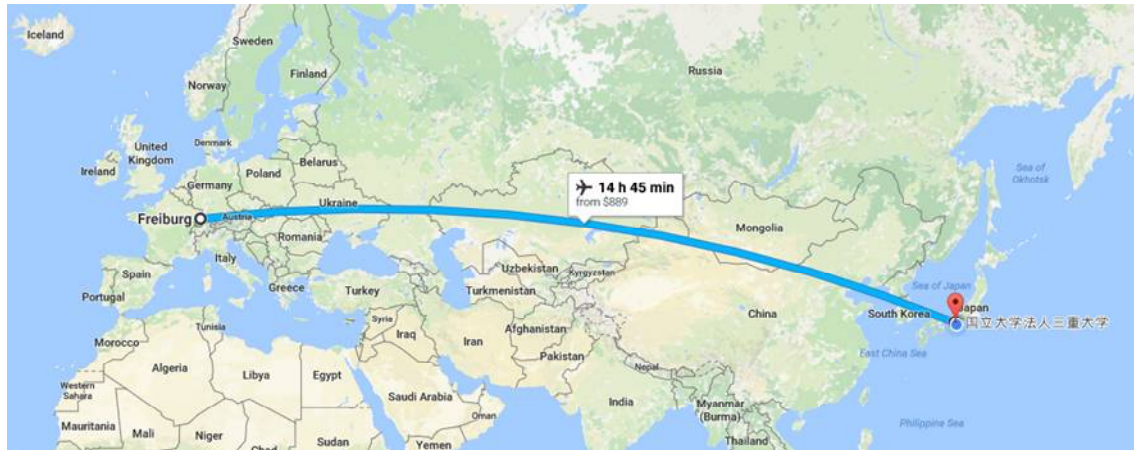
ドイツ:フライブルク・カトリック大学 国際交流センター長は、四日市ご出身の広江尚美氏である。広江センター長が、本学との関係確立に向けて積極的に活動され、三重大教育学部に続いて、2014年6月11日、医学部との大学間協定の締結に至った。文書交換後、先ず畑下博世教授の現地訪問があり、同年9月の畑下教授(当時学科長)、児玉講師および学生2名(4年生)のドイツ、フライブルク・カトリック大学訪問により、看護学科との実質的な交流が始まった。学部間協定ながら、フライブルク・カトリック大学に医学科はなく、実質的に看護学科との協定となった。2015年4月看護学科国際交流委員長が畑下教授から成田に交代の直後、フライブルク・カトリック大学、国際交流センター長 広江尚美氏から同学学生のインターンシップ依頼を受けた。本件、すぐに学科長、附属病院長、同看護部長との相談を開始、同5月末に概略を構成し、県内4関連病院長への協力をお願いした。受入依頼から1年後の2016年4月に、最初のインターンシップ生4名を受け入れた。

タイ:チェンマイ大学は、タイ北西部に位置する古都チェンマイにある国立大学で、広大なキャンパスと17の学部、3研究所を持ち、学生総数2万4000人に及ぶ。看護学部は本学医学部看護学科の提携校で、2013年から年に一度、相互に1週間の研修を

受け容れてきた。2016年は7月17日から23日まで、9名（学部学生8名と引率教員1名）が三重大学を訪問した。実質的な交流が重なるにつれて、教員間での研究を模索するようになった。

（3）事業実施結果

① 2016年4月28日から同7月26日までドイツ、フライブルクから4名のインターンシップ生が来学した。男性3名（全員、看護師）および女性1名（医療補助）で、全員が仕事を持ちながら、フライブルク・カトリック大学でHealth Care Management Courseを修学していた。



4名の研修には下記のようなタイムスケジュールを組んだ。三重大学医学部附属病院での研修が6週間で、病院内の殆ど全ての領域を見学・体験できた。その後6月20日からは、桑名東医療センター、NHO 国立三重病院、県立志摩病院、ならびに公立紀南病院での研修を受けさせていただいた。何れの医療機関においても、関係各位のご理解とご厚意で、本学看護学科での初めてのインターンシップ受け入れを完了することができた。

	2016年4月28日(木曜日)到着	5月			6月			7月				
	W0	W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8	W9	W10	W11
	4/28末日	5/2～	5/9～	5/16～	5/23～	5/30～	6/6～	6/13～	6/20～	6/27～	7/4～	7/11～
国際交流C 日本語教育等 三重大学医学部附属病院		home s. etc.										
NHO 三重 病院 桑名医療センター 公立 志摩病院 公立 紀南病院	Alina	この間は4名とも大病院内(上記)での配置							Alina	Alina		Alina
NHO 三重 病院 桑名医療センター 公立 志摩病院 公立 紀南病院	Max	この間は4名とも大病院内(上記)での配置							Max	Max		Max
NHO 三重 病院 桑名医療センター 公立 志摩病院 公立 紀南病院	Simon	この間は4名とも大病院内(上記)での配置								Simon	Simon	
NHO 三重 病院 桑名医療センター 公立 志摩病院 公立 紀南病院	Urs	この間は4名とも大病院内(上記)での配置							Urs	Urs		Urs

② インターンシップ4学生をこちらで受け入れている間（6月6～10日）に、ドイツ、フライブルク・カトリック大学では、国際週間（International Week）が開催された。提携大学から研究者や教育者が多数参加し、パネルディスカッション形式等での多様な領域の内容が組まれていた。この国際週間に、本学看護学科学生と教職員が参加した（計5名）。フライブルク・カトリック大学でも、このような形の国際週間は初めての企画で、広江尚美センター長が企画、運営を担当された。後日談として、さまざまなお苦勞を伺った。各国からの参加者は発表や意思疎通を英語で行っていた。三重大学からの参加者の様子は、同大学の広報誌にも掲載された。（下図）

③ ドイツからの研修生が、最後の研修期間を県内 4 病院で受けている 7 月 17 日から 23 日まで、タイ、チェンマイ大学、看護学科からの 9 名（教員 1 名、学部学生 8 名）が三重大学を訪問した。到着翌日の 18 日（月曜日、海の日）は休日だったが、午前中、看護学科の教員や学生、ドイツからの研修生も参加して、看護学セミナーを開催した。本学学生



が三重県や三重大のこと、日本の看護制度などを概説し、続いて、チェンマイ大からの学生がタイの看護師養成や医療についての紹介を行った。その後、引率のピヤヌート・シュート准教授がインターネットを用いた自身の介入研究を紹介し、共同研究を提案した。

セミナーのあと、一行は、本学看護学科学生、フライブルク・カトリック大学の研修生とともに、松阪市へ近鉄で移動し、昼食、松阪もめん機織り体験に続き、松阪城址では甲冑隊からの解説を英語で受けた。御城番屋敷では、甲冑隊のお一人のお宅に上がらせてもらった。そこで、必要時には広い部屋として、襖を取り払って使える、コンパクトで機能的な家屋構造や、小さくとも緑ゆたかな庭を拝見できた。この間、3カ国の学生が相互に交流する機会となった。



7 月 22 日夕方、ドイツ、およびタイ研修生との合同で 3 カ国の学生が交流する場を設けた。研修の成果をスライドで報告し、それぞれの文化も披露された。本学看護学科の学生は、それぞれの訪問者に気配りしながら、交流の総括の好機として企画、運営した。

④ 8 月 28 日～9 月 3 日、タイ、チェンマイ大学看護学部へ本学学生 2 名、教員 1 名、医学部附属病院看護師 1 名が訪問し、同大学での看護師養成の具体的内容や、地域医療に関して研修を受けた。また、渡航前後に、事前学習 5 回と事後検討会を開催した。

⑤ 11 月 18 日～25 日、ドイツ フライブルク・カトリック大学へ本学大学院生 1 名、医学部附属病院教授 1 名、県内病院医師等 3 名（ドイツ人インターンシップ研修生の 6～7 月受入に関与）が、フライブルクを訪問した。この間、同大学や地域の医療機関での医療提供と教育に関する研修を受けた。この渡航中に、同大学から、再度の本学および公立紀南病院訪問の希望が表明され、帰国直後より日程調整を行った。年末ながら 1 か月後には以下のように 4 名が来日した。

⑥ 12 月 19～24 日、フライブルク・カトリック大学から 2 名の学生と教員 2 名が、本学医学部看護学科、医学部附属病院および公立紀南病院を訪問した。最終日の 12 月

23 日には、三重大学医学部附属病院
外来棟 5 階の大ホールにて、2016 三
重大学地域拠点サテライト企画「地域
医療と医療資源のマネジメント：日独
に共通する諸問題と解決策に向けて」
と題したパネルディスカッションを
共同で開催した。



(4) 事業の意義

医学部看護学科（大学院医学系研究科看護学専攻）の提携校は、まだ少ない。しかし、上記交流により学生および教員間での共同研究も開始され、教育ならびに研究上の発展が期待される。

(5) 事業の発展性

継続により、交流内容を地域および専門職領域まで徐々に拡大することで、学習意欲と教育効果の向上が期待される。また、相互理解の伸展から、学生や教員間の共同研究事業に発展できることが期待される。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

- #1 相互訪問の継続（提携校との信頼関係のさらなる醸成による）
- #2 教育：本学での単位認定に繋げる方策の模索
- #3 学内での国際交流活動への学生参加の促進

(7) その他

特になし。

平成 28 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

2016 年度、三重大学医学部看護学科（大学院医学系研究科看護学専攻）は、「看護学科における ドイツ および タイ提携校との相互交流促進事業」として、下記のように、受け入れ 3 件、派遣 3 件を主管した。

提携校からの受け入れ：

① 4 月末～7 月末：ドイツ、フライブルク・カトリック大学から 4 名の学生が派遣元大学で単位認定されるインターンシップとして、3 か月間、本学医学部看護学科、医学部附属病院および県内 4 関連病院で研修した。

② 7 月下旬：タイ、チェンマイ大学からの学生 8 名と教員 1 名が、1 週間の日程で、本学医学部看護学科、医学部附属病院および公立紀南病院での研修を行った。

③ 12 月下旬：フライブルク・カトリック大学から 2 名の学生と教員 2 名が 1 週間の日程で、本学医学部看護学科、医学部附属病院および公立紀南病院を訪問し、最終日の 12 月 23 日には、三重大学医学部附属病院 外来棟 5 階の大ホールにて、2016 三重大学地域拠点サテライト企画「地域医療と医療資源のマネジメントー日独に共通する諸問題と解決策に向けて」と題したパネルディスカッションを共同で開催した。

提携校への派遣：

① 5 月上旬、ドイツ、フライブルク・カトリック大学での国際週間 (International Week) に合わせ学生 2 名と教職員 3 名が 1 週間の日程で、フライブルクにて研修した。

② 8 月下旬、タイ、チェンマイ大学看護学科へ学部学生 2 名と教職員 2 名が訪問し、1 週間の日程で、タイの文化、保健、医療、看護について研修した。

③ 11 月中旬、ドイツ、フライブルク・カトリック大学と関連医療機関へ大学院学生および医学部附属病院教員等、計 5 名が訪問 (1 週間) し、現地の救急医療体制ならびに医療提供について見学、意見交換した。

以上

平成 28 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

The School of Nursing within the Faculty of Medicine at Mie University coordinated six programs focused on mutual international exchange, partnering with universities in Thailand and Germany in the 2016 fiscal year. The programs consisted of three receptions and three visits as described below.

Receptions:

- 1) Four students from the Catholic University of Applied Sciences in Freiburg, Germany came to Mie University (School of Nursing, Mie University Hospital) and four affiliated hospitals in Mie prefecture from April to July 2016 for a three-month internship as part of a program within the Health Care Management Course at their university
- 2) Eight students and an assistant professor from the Faculty of Nursing at Chiang Mai University in Thailand visited Mie University from July 17 to July 23, including a one-day trip to the Kinan area and the publicly run Kinan Hospital.
- 3) Two nursing students and two faculty members from the Catholic University of Applied Sciences in Freiburg, Germany came to Mie University from December 19 to December 24, presenting on several topics at a mutual workshop covering common problems – and seeking solutions – in local health care management, held at Mie University Hospital (Outpatients' Department) on December 23. The workshop was presented as a regional program of Mie University.

Visits:

- 1) Two undergraduate students, two faculty members and one staff member from Mie University visited International Week at the Catholic University of Applied Sciences in Freiburg, Germany, which was held for the first time from June 6 through June 10.
- 2) Two undergraduate students, one faculty member from the School of Nursing and one head nurse from Mie University Hospital visited Chiang Mai University from August 28 through September 3.
- 3) One graduate student and one professor from Mie University Hospital, two medical doctors from affiliated hospitals and one professor from Tama University visited

the Catholic University of Applied Sciences in Freiburg and associated facilities in Germany.